

第3回 熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会 会議録要旨

日時：2017年9月28日(木) 18:00～20:25

場所：町田市役所 2-1 会議室

■出席者（敬称略）

○委員

所属	名前	出欠
法政大学名誉教授	永井委員長	○
桜美林大学教授	山口委員	○
町田リサイクル文化センター周辺 まちづくり協議会	高橋委員	○
	小林委員	○
	守屋委員	○
	佐藤委員	○
青少年健全育成小山田地区委員会	齋藤委員	○
NPO 法人アイスフォゲルススポーツクラブ	原田委員	○

○協力員

所属	名前	出欠
下小山田町内会	中丸協力員	○

○事務局

所属		名前	出欠
町 田 市	政策経営部	小島部長	○
	企画政策課	樋口担当課長	○
	環境資源部	水島部長	○
		田中担当部長	○
	環境政策課	塩澤課長	○
		高橋担当課長	○
		濱田係長	○
		山田担当係長	○
	循環型施設整備課	守田課長	○
		布施担当課長	○
	資源循環課	林担当課長	○
		安野	○
	スポーツ振興課	喜多担当係長	○
		地福	○
	公園緑地課	新担当課長	○
		小野	○
	市コンサルタント	アルテップ2名	○

○傍聴者 2名

■配布資料

- ・ 次第
- ・ 第2回検討委員会での主な意見 資料1
- ・ 熱回収施設等の周辺施設整備基本構想検討内容 資料2
- ・ 健康増進温浴施設の簡易設計結果 参考資料
- ・ 最終処分場等の整備イメージ 当日配布資料

■議事要旨

○開会

委員長 冒頭、事務局から今後の検討委員会の進行について説明させていただきたいとのことなので、まず事務局から説明をうかがいたい。

事務局 11月から市民意見募集を行う予定だったが、本日の委員会資料を素案の案とするにあたり、補強すべき点がある。まず、最終処分場等の上部利用については、先行して整備する池の辺地区と、峠谷地区・旧埋立地との間でイメージの差があり、埋めていく必要がある。また、健康増進温浴施設については、図面を見ながらも少し時間を取って議論していただきたい。加えて、議論の過程についても記述していきたい。そこで、本日、このような点について審議していただいたうえで、11月にもう一度委員会を開催して再度素案の案を確認し、これをもとに市民意見募集を行い、2月の委員会で基本構想案を策定するという形に変更させていただきたい。

委員長 いま説明があった通り、当初の予定より会議の回数を1回追加したいとのことだが、この件について質問等はあるか。

委員等 回数を増やすことには賛成である。上部利用について、旧埋立地の整備の方向性が定まっていらないように思うが、その点についても委員会で議論し、基本構想の中で示さなければ具体的なイメージも湧かないのではないかな。

事務局 池の辺地区だけでなく、全体の整備イメージが分からないとトータルのことわからない。その点については、本日、追加資料を配布しているので、その際に説明する。

委員長 事務局の提案を了承し、11月に第4回の検討委員会、2月に第5回の検討委員会を開催したうえで基本構想案を策定することとしたい。

・事務局より、資料の確認

事務局 事前に配布している次第、資料1、資料2、参考資料のほかに、当日配布資料として最終処分場等のイメージ図を示している。

○報告

(1) 第2回検討委員会での主な意見について

・事務局より、資料1について説明

委員等 資料1の3ページに記述のある「ダスト舗装」とは何か。

事務局 学校の校庭のような舗装で、細かい砂粒を敷き詰めて塩化カルシウムで固めており、土ぼこりが立ちにくい。近隣にある公園では、山王林公園でも使われている。

委員長 今後の検討にあたり、この資料1の内容を前提に議論を行う。

○議事

(1) 熱回収施設等の周辺施設整備基本構想検討内容について

・事務局より、**資料2**の全体の流れについて説明

委員等 5ページに最終処分場等の概ねの面積が記載されているが、峠谷地区の平たん部・斜面部の面積は現状の面積なのか、埋め立て後の面積なのか。

事務局 14ページのイメージ図では埋め立てた図を示しているが、5ページの面積は現状の面積を掲載している。

委員等 1ページで、周辺地区連絡会の中でさまざまな議論があり、地域のまちづくりを進めるために市の整備推進本部や地元のまちづくり協議会ができたという記述を入れたほうが、流れが良くなるのではないかと。

また、ワークショップは、この検討委員会の前段としての位置づけであり、ワークショップで出た意見を委員会の中で参考にしていくという記述が入ると良い。

委員会を1回増やすことについても、必要であれば記述すると良いだろう。

事務局 経過に関する記述については、もう一度見直しをしながら、皆様に了解していただけるような内容にしたい。

委員等 基本構想が一般の方の目に触れたときに、なぜ忠生でお金をかけてこのような整備をするのかと思う方がいらっしゃるかもしれない。リサイクル文化センターの建替えと地域の開発はセットで、市の整備推進本部に対応するものとして地元でもまちづくり協議会ができたという経過を書いた方が、他地域の市民の理解を得るうえで適切だろう。

委員等 市とまちづくり協議会の間で開催された意見交換会についても記述してほしい。

委員長 今日の議論を踏まえ、事務局には経緯の部分进行调整していただきたい。

・事務局より、**資料2**のうち、最終処分場等の上部利用について説明

委員長 まず、12ページの最終処分場等全体のゾーニングについて意見交換を行いたい。

委員等 12ページについて、峠谷地区は埋め立てた状態で図が描かれているが、最終的に面積はどれくらいになるのか。

事務局 整備方針図については埋め立てた最終形のイメージを描いているが、面積はまだ計算していない。

委員等 尾根緑道から広場へのアクセスについて、車いすが通れるように緩やかなスロープを作るとしても、まっすぐ降りられるような急なスロープも作ることはいかぬか。曲がり角が多く、マラソン等には使いづらい。

池の辺地区の駐車場について、台数が少ないのではないかと。また、出入り口は、小山田桜台の既存の信号の場所から出入りしたほうが良いのではないかと。

多目的広場について、トラック状のものは利用方法が制限されるので良くないと思う。

事務局 スロープについては、このような形をとらざるを得ないが、まっすぐアクセスできるように、階段等を別に設置することを検討したい。

委員等 ワークショップのA案のようにスロープで繋いだ時に、どれくらいの勾配になるのか。

事務局 勾配を計算して作っている。ある程度距離を取らないと急勾配になってしまう。

委員等 どれくらいの高さの差があつて延長はどれくらいあるのか。伸ばそうと思えばバスケットコートの方の方向にいくらでも伸ばせる。ある程度広い連絡通路があつたほうが良い。

事務局 駐車場の台数は、広さから計算して39台としている。ダスト舗装に関しては、本日議論し

ていただければと思う。

事務局 駐車場の入口については、信号のある交差点からはある程度離れた方が安全が確保できるという考え方である。

委員等 その考え方は警察の考え方か、市の考え方か。

事務局 今まで警察からの指導等を受けた経験を踏まえると、信号から離れた方が安全だ。

委員等 一般的な商業施設やレジャー施設等でも、カーブの先や交差点付近を避ける事が安全上望ましいとされている。

委員等 地域の催し物のことを考えると、39台という台数は少ないのではないかな。

委員等 駐車場の台数39台というのは池の辺単独とすると、旧埋立地の駐車場は何台分を想定しているのか。

事務局 旧埋立地側の必要台数については、まだ具体的には算定していない。

委員等 交通公園専用の駐車場を設ける場合は、あまり台数を多くする必要はない。青梅市の交通公園は1万㎡あるが、中の混雑を避けるために駐車場は15台にしている。

杉並区の交通公園では公園内だけでなく、善福寺川のサイクリングロードも利用できるようなになっている。尾根緑道や周辺の道路も活用するために、出入口にサイクリングの専用レーンを作り、幅や傾斜を考えてもらいたい。

委員等 池の辺、峠谷、旧埋立地のイメージ図が別々に書いてあるが、一つの縮尺・考え方で図面を描き、見開きで見られるようにしたほうが、つながりがわかりやすいのではないかな。

事務局 本日の「当日配布資料」にあるような1枚の図面でイメージ図を示し、12ページの整備方針図と13ページのイメージ図が横につながるように示したい。

委員等 尾根緑道からの接続道について、車いすが通れるという話があったが、純粋に車いす用の通路なのか、周回路も兼ねているのか。通路をつくるための土地になってしまい、遊具を置けるスペースが制限されてしまうのではないかな心配である。

委員等 車いすで両方に降りられるようになっているが、片方だけで良いのではないかな。

委員等 理想的には、車いす用の通路と、まっすぐ行く通路の両方が必要である。

事務局 検討して、次回提示する。

委員等 多目的広場について、全体をダスト舗装にしても良いのではないかな。

委員等 ダスト舗装だからといって全く土ぼこりが立たないわけではなく、小学校の校庭にもスプリンクラー設備が付いている。その点も考慮する必要がある。

委員等 その点を考慮すると、土と草を半分にして、ぼこりが立ちすぎないという考え方もあると思う。

事務局 全部ダスト舗装にするのは難しいと考えている。全部を草地にするか、半分半分にするかという点は、今回の委員会でもとめていただきたい。

委員等 本町田小学校の校庭は芝生とクレイが分かれているが、境目に段差があり、転んだりする可能性もある。グランドゴルフをやるのであれば、移動がある程度あり、打球のこともあるので、全面を草地にするほうが使いやすいのではないかなと思う。

もう1点、地域の方が集まって大会を開くようなことも考えると、トイレが1か所だけというのは果たして適切だろうか。2か所ほどあってもおかしくはないと思う。

委員等 トイレだけでなく、お母さんが小さなお子さんに授乳をしたり、手を洗ったり、休んだり、雨が降ったときに避難できるような、管理棟に匹敵するような建物を置いてほしい。

- 委員等** トイレは駐車場側にあるべきだと思うが、この敷地には建物が建てられないとのことなので、難しいだろう。
- 委員等** プレハブを置くことはできないか。八王子市の戸吹スポーツ公園には簡易休憩所がある。通路の空間は通路だけなのか。ボールが飛んでくる可能性もあるため、安全のために境目に植栽やネットのようなものを置けないか。
- 委員等** 八王子市の戸吹スポーツ公園は埋立地の中央部分に事務所や管理棟があり、トイレ等が併設されている。そのような工夫の余地があるのではないか。
- 事務局** バasketコート周辺の周辺であれば、少しだけ掘ることができるので、簡易なものであれば建てられるかもしれない。建物が設置できる場所を確認・検討し、次回イメージ図に掲載していきたい。
- 事務局** 八王子市の戸吹スポーツ公園の場合、覆土が深いということがあり、建物ができる。町田市の場合は条件が違うが、その中で何が作れるかは検討していきたい。
- 委員等** 池の辺と峠谷の両方に花壇があるが、片方で良いのではないか。下に行かないと見えないものであり、量が多いと管理が難しいだろう。
- 峠谷地区について、ホームランやファウルのことを考えると、ソフトボールグラウンドを脇に寄せたほうが良いのではないか。現状ではテニスコートとの間が近すぎる。また、ジョギングコースは、ボールが飛んできて危ないので峠谷地区は通らず、尾根緑道だけで十分ではないか。
- 委員等** 花壇の運営管理については、ボランティアの方にやっていただくという方法もあるのではないか。
- 委員等** 施設間を回遊できる通路は必要であると思う。そこでジョギングもできるという考え方だろう。
- 委員等** 車いすが通れるという話があったが、通路の幅はどれくらいあるのか。
- 事務局** 1.2m以上という基準があり、2mの通路幅で図を描いている。
- 委員等** 15ページの交通公園の絵は、青梅のものを貼り付けているが、実物大になっているか。
- 事務局** この図はワークショップの提案内容から持ってきたものであり、縮尺は合っていない。
- 委員等** 交通公園については、所長をやった経験を踏まえ、こういう風にしたいほうが良いといった点のレポートを第2回のワークショップの際に出したので、参考にしていきたい。
- 委員等** 駐車場については、公園面積を削ってまで台数を増やすか否かは決めた方がよい。ピーク時の不足はあるが、観光・レジャー施設でも、5割や7割といった基準を考えてそれ以上は諦める考え方が一般的である。
- 委員等** 今の図では通路の両側に駐車場をつけられない作り方になっていて、あまり効率的でない。また、ワークショップで、どの班でも冒険広場やアスレチックが提案されていた。どこかに置けないか。尾根緑道から下りてくる部分は難しそうなので、花を楽しめる空間の部分にアスレチックはできないか。
- 事務局** 遊具を置くということは、下を固めて動かないようにする必要があり、下にごみが埋まっている堰堤にアスレチック等を設置するのは難しいということでご了解いただきたい。
- 委員長** 12ページの図についてはこの通りでよろしいか。
- また、13ページについて、池の辺地区の多目的広場は全面草地とするという方向でいかがか。事務局から意見はあるか。

事務局 グランドゴルフやゲートボールのことも考えて一部ダスト舗装とすることを提案したが、全面草地でも良い。

委員等 グランドゴルフは草地だとあまり飛ばないが、土ぼこりのことを考えると草でも良い。

委員等 土ぼこりに対してどれほどの効果があるかはわからないが、斜面に植栽がある点が校庭とは異なる。

委員等 グラウンド一面程度であれば目をつぶってダスト舗装にするということもあるだろう。利用者の方がいるのであれば、配慮するというものもある。

委員等 子どもが野球のようなことをするのにもある程度舗装があった方がよいので、半分半分とするのが良いのかもしれない。境目の部分は転ばないようにする必要がある。

委員等 管理をされているところであれば、段差はない。

委員長 委員会としては、草地とダストで半分半分ということで、境界部分は段差ができないように管理することとしたい。

委員等 駐車場は、この面積の中でできるだけ台数を増やす方向とすることによってよろしいか。

委員等 さくら通り側の駐車場についても、立派な植栽は必要なく、その部分を使って多くの台数を置けるようにした方が良い。

委員長 面積は増やさず、台数を極力増やすということにしたい。
本日、当日配布資料で峠谷地区と旧埋立地などについてイメージが示されているが、現時点で、意見はあるか。

委員等 フットサルコートはどれくらいの大きさか。バスケットボールコートぐらいか。

事務局 20m×40m の大きさである。

委員等 ソフトボール場についても、周りのネットは置けないという前提か。

事務局 高さが高いものは基礎が必要なため厳しいが、横に支える形式のネットであれば設置が可能である。

委員等 斜面を利用した遊具のある空間は、どれくらいの規模で、こういったものが置けるのか。

事務局 図で点線で囲ってある部分だけでなく、スペースをもう少し広くとることはできる。ただし、あまり深く埋めるようなものは厳しく、置くような形のものになる。

委員等 峠谷のソフトボール場に高いネットが張れないということだが、万が一、打球で怪我をした際には管理責任を問われるということを考えた方が良い。

委員長 その点も考慮して、もう一度検討していただきたいと思う。本日の議論を踏まえ、次回の会議で旧埋立地・峠谷のイメージを示していただきたい。

委員等 事業スケジュールについて、(1) となっていて(2) がないが、5 ヵ年計画で重点事業に位置付けられ、議会でも説明されているため、旧埋立地も含めた公園の全体像に関する方向性についても記述したほうが良いのではないか。
具体的な期間を入れるかどうかは議論があるが、基本構想が対象とする、概ね20 年や30 年といった期間を入れておいたほうが良い。バリューアッププランでも多摩都市モノレールと小田急多摩線延伸の駅が出来るあたりまでの期間を長期としており、整合性のある期間を考えられれば、入れられると良い。

事務局 この構想を作るにあたっては、5 ヵ年計画を踏まえている。
旧埋立地と峠谷地区については、今スケジュールが立つ状況ではないため、あくまで近い5 年間でできるスケジュールをここで示しているということをご理解いただきたい。

委員等 整備基本構想というと、全体の構想をイメージするが、その中で一部の整備計画だけが出てくると、あとはどうなるのだろうかと感じる。具体的なスケジュールではなくとも、全体の構想の期間を示す表現の仕方があるだろう。

・事務局より、**資料2**のうち、健康増進温浴施設について説明。

委員等 17ページの基本的な考え方とところに、災害時の避難所としての機能を設けるという点を追記してほしい。ワークショップやバリューアッププランでもその点を提案している。例えば、避難してお風呂に入れない方にお風呂に入ってもらいたいことができるだろう。

委員等 その意見に賛成である。町田リサイクル文化センターは小さな防災倉庫が1つあるだけだ。そういった防災機能も必要だと思うが、それだけでなく、避難できる場所があると、周辺住民は安心感が持てる。3階の屋上テラスの部分を多目的に使える部屋にして、いざという時は寝泊りできるようにしたら立派な施設になるのではないかな。

事務局 新しい熱回収施設を避難施設に位置付けているので、そちらとの関係を踏まえて検討させていただきたい。屋上テラスについては、どのように利用するのが望ましいか議論していただきたい。

委員等 3階の屋外テラスは不要で、多目的ホールにしたほうが良いだろう。

2階の多目的室2を浴室側から直接行ける構造の食堂にしてはどうか。

委員等 プール本体の食堂の調整によって、食堂にするか多目的室にするかが決まってくるだろう。

3階については、屋外テラスの部分を含めて休憩室を広くとれば良いのではないかな。

委員等 民間の施設ではお風呂と食堂がセットになっており、この施設をそのような形で設けると競合してしまう。また、厨房が必要となって、現在の多目的室2の半分程度を占めてしまい、食べるスペースが狭くなる。公共施設として提供するものを最低限に絞ることも考えると、採算が合うかどうか厳しいだろう。

一方、休憩所で何かを食べたいというニーズはあるだろう。売店機能を受付と兼ねる形で2階に置き、3階の休憩室には自動販売機を置くというのが、採算もとれ、利用者にとっても快適になると思う。

トレーニングルームのスペースが足りないと聞いているため、多目的室とすると良いだろう。健康プログラムについては採算性のハードルは低く、民間が中身を経営してくれる可能性もある。

委員等 3階に多目的室を置き、2階でお風呂と休憩室を連携させたほうが良いのではないかな。

委員等 多目的室を何に利用するかによる。健康プログラムを実施するのであれば、室内プール側にあったほうが、繋がりが良い。

委員等 災害時を考えると、3階の屋上テラスや通路の上の部分を多目的に使える部屋として、大勢が寝泊まれるようにしたほうが良い。

事務局 料金を払って温浴施設を使う人だけが3階に上られる形になっている。

委員等 休憩室であっても、テーブルを片付ければ避難所として使うことができる。

委員等 この施設は維持管理費がかなりかかると思う。ある程度料金を取ることが必要だと思うが、そのような受付機能を入れたほうが良いのではないかな。

委員等 1階に車いす駐車スペースが必要だというのは分かるが、こんなに必要だろうか。建物の中の駐車スペースを使えば、管理事務所のスペースが取れるのではないかな。

委員長 1階が入口ではなく2階が入口という形になる。

- 委員等 思いやりスペースとして一般の方も利用できる場所が4台、車いす用駐車場が6台となっているが、車いす用が多い気がする。
- 委員等 思いやりスペースと車いす用駐車場はどう違うのか。
- 委員等 思いやりスペースは、一般の方でも使えるが、障がい者の方はできるだけ優先されるというものである。
- 委員等 施設全体の利用の考え方として、温浴施設だけ、健康機能だけ、多目的室だけといった色々なパターンがある。それによって1階で共通に入場料をとるのか、別々の機能に分けるのかが変わる。利用者の流れを踏まえて、施設の位置づけをきちっとしていただきたい。
- 委員等 今の設計案では、2階の下足入れの奥と3階が入場料が必要な空間と認識している。多目的室や売店までは誰でも入れる。
- 委員長 「多目的室または食堂」は多目的室とし、3階の屋外テラスは休憩室ということでよろしいか。あとは、もうすこし売店のあり方をしっかりしてほしい。
- 委員等 1階の思いやりスペースの部分を減らして、防音施設を持った音楽室を作してほしい。ジャズや軽音楽をやる人が結構いるが、ドラムをたたける部屋が相原まで行かなければならぬ。そうした部屋があれば、若者を呼べるのではないか。
- 委員等 兼用にして一般の方が使えるといっても、普通の車を3、4台だけ入れるというのは不可能。そうすると全部が不自由な方専用の駐車場にしても良いだろう。
- 事務局 施設を管理している側としては、温浴施設ができて利用者が増える中で、第2・第3駐車場だけで賄えない可能性を危惧している。少なくとも障がいのある方々の駐車場は、前面のほうにより多く確保したいという考え方でこのような図面を出している。
- 委員等 他の施設では、駐車場の総台数の中で、障害者用駐車場の割合はどうなっているのか。
- 委員等 どこにピークを合わせるかできりがいい部分もある。通常の使用状況では第2・第3で足りている。大きな大会の際は足りないこともあり、空き地を使うなど工夫をしている。
- 事務局 障害のある方から、第1駐車場が使えず第2・第3にまわって、ご意見をいただくことが多い。
- 委員等 料金徴収のためのブースも入ることを考えると、なかなか台数は減らせないだろう。
- 委員等 第2駐車場からストレートに室内プールに入れるようにしてほしいとお願いしている。そこにスロープを付けて、車いすの方も通れるような設備にすれば、改善されるのではないか。
- 事務局 スロープについては、改修を来年度から行うにあたり、検討課題の一つになっている。
- 委員長 3階の屋上テラスを休憩室にすることについては、事務局としては問題ないか。
- 事務局 今いただいた意見はイメージ図と留意点に反映したい。設計図面については、参考として示しているものなのでこの通りにできるわけではない。

(2) 市民意見募集について

- 事務局 11月に予定していた市民意見募集を12月1日から12月28日までの期間で行いたい。今日議論していただいた内容をまとめて、次回の検討委員会で基本構想の素案と概要版を示し、了承いただければ、それをもとに市民意見募集を行いたい。
- 委員等 あり方検討委員会のメンバー選出も、町田リサイクル文化センターの迷惑施設に対する地元対策の中で、関係者の中で集まって地域の人たちに使いやすい施設を作るという内容で進んでいると思う。この範囲で意見募集するならともかく、全市を対象として意見を募集すると、

まともらなくなる。地域に対する迷惑施設だという前提であり、この検討委員会に加え、若い人も含めたワークショップもやっているの、意見募集は必要ないと思う。

事務局 町田市未来づくりプランに掲げて進めている事業になるため、全市としての市民意見募集としたい。

委員等 それであれば、委員の選出についても全市から選出しなければおかしいだろう。地域の人がある程度優先して利用する発想だと思う。

事務局 5ヵ年計画に位置付けられているので、手順を踏まなければならない点をご理解いただきたい。また、意見募集で出た意見をすべて聞いて修正するわけではない。

委員等 意見をもらったら、慎重に考えて対応できるようにしなければならない。ジェスチャー、セレモニーである。市民の意見を聞きましたという自己満足であり、無駄な作業だ。

委員長 情報公開を兼ねて、コメントをもらいたいということだろう。ここまでワークショップや検討委員会で地元の方が積み上げてきたものなので、どんどん直していくという話ではないだろう。

委員等 各委員が団体の代表として出ているのだから、会員全員とは行かなくとも、役員等に説明して、それに対してこのような意見があったということを発表すれば、無視していることにはないので十分かと思う。

委員等 市民意見募集は情報公開に近い部分があり、市民に周知するということが行政手続きとして必要である。

委員等 町田市の方針として、市の税金を使っているの、広く周知しなければならない。手順としてパブリックコメントを聞くことは大事だと思う。ただ、鶴川や南町田のような地区のまちづくりとは異なって、迷惑施設を建てる際の地域の要望という要素があり、そのあたりはどのように考えるのか。

事務局 地元の方の意見をもとにまとめたものを、一度市民にお示しし、その意見を踏まえて2月の検討委員会で判断し、事務局でまとめていきたい。

委員等 市民意見募集に出すのであれば、ごみ処理施設を移転せず再整備する中で、地域に恩返しする意味で入って、地元の人を中心にこのような意見が出ていて、それを前提に意見を考えるという形で説明してほしい。

事務局 市民の皆さんがわかりやすいように、文章を検討する。

○閉会

事務局 次回は、11月9日18時から、町田市役所2階 市民協働おうえんルームとする。

以 上